

蘇生会総合病院 広報誌

SOS EI

そせい

Vol. 89

2026
summer

ご自由にお持ちください
～Take Free～

患者様のSOSに気付ける医療者でありたい
患者様のSOSに応えられる病院でありたい



Contents

2026年着任のご挨拶

手術支援ロボット

ダビンチXi【da Vinci Xi】導入

自転車ヘルメット着用推進モデル事業所に指定

糖尿病教室 開催報告

レシピ「豚肉と夏野菜のポン酢蒸し」



医療法人社団蘇生会

蘇生会総合病院

SOSEIKAI GENERAL HOSPITAL

Hibiki
Kanda



呼吸器内科 部長

神田 響

このたび5月1日をもって蘇生会総合病院に赴任いたしました、呼吸器内科の神田響と申します。

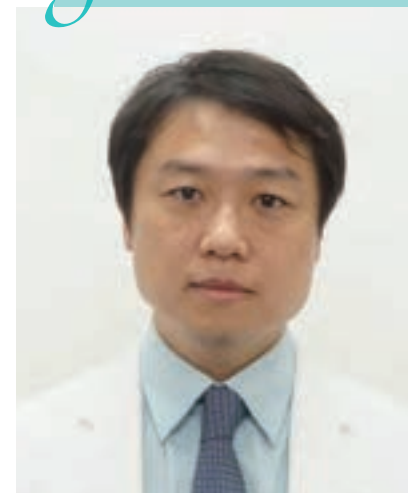
私は石川県金沢市出身で、2000年に島根医科大学（現・島根大学医学部）を卒業しました。卒業後15年間は大学病院に勤務し、肺癌に対する集学的治療、呼吸器インターベンション、集中治療領域における呼吸管理などを学びました。その後、国立病院機構松江医療センターの呼吸器センターにて、結核をはじめとする政策医療や慢性呼吸不全患者さんの在宅人工呼吸療法に携わりました。

さらに滋賀県の草津総合病院（現・淡海医療センター）では呼吸器疾患センター長として9年間勤務し、呼吸器診療体制の構築をはじめ、院内RST（呼吸サポートチーム）や免疫チェックポイント阻害薬適正使用チームの立ち上げ、京都府立医科大との共同研究や人材育成などに取り組んでまいりました。このたび、これまで培った経験を生かし、蘇生会総合病院の呼吸器医療体制のさらなる充実に貢献したいと考えております。患者さんお一人おひとりの声に耳を傾け、小さな不安や悩みにも誠実に向き合う診療を心掛けてまいります。また、院内の先生方の大切な患者さんの呼吸器に関する問題解決をサポートし、それぞれの専門診療に専念していただける環境づくりにも努めてまいります。

蘇生会総合病院の一員として恥じることのない医療を提供できるよう精進してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

2026年着任 のご挨拶

Yu Ken



外科 部長

庾 賢

2026年4月から外科部長として着任いたしました庾（ゆう）賢と申します。京都市伏見区出身で、深草で育ちました。今回生まれ育った伏見で地域医療に貢献できる機会をいただき大変ありがたく思っております。

私は大学卒業後、京都、東京、そして前任地である大阪で胃癌に対する治療を行って参りました。その中でも特にロボット支援手術をはじめとする低侵襲手術が専門になります。今年度より蘇生会総合病院でもロボット支援下手術を開始するに伴い着任した次第であります。ロボット支援下手術はロボットが手術する訳ではありません。あくまで我々外科医師が操作することによって手術が行われます。ロボットによって緊張した場面でも手ぶれを防止することができ、また高性能カメラによって肉眼では認識することができない構造までも明確に捉えることができます。つまりロボットによって外科医の手や目の機能を高めることができ、その結果出血量の減少や合併症の低減など、患者様により優しい治療を提供することができます。忘れてはいけない事は、ロボットは治療における一つのツールに過ぎず、治療するのは我々医師をはじめとした人（ヒト）であるという事です。蘇生会総合病院外科では患者様の病態を個別に見極め、それぞれの患者様に最も適した治療方法を提案させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

Yoshinao
Obatake

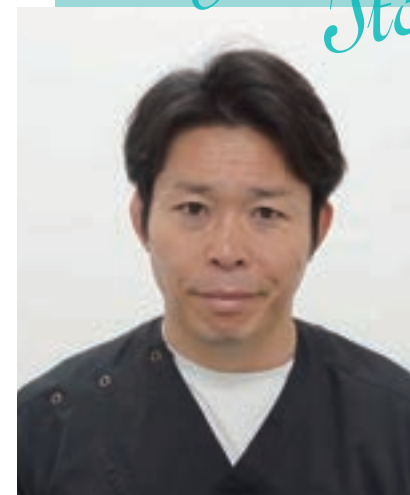


外科 部長

大島 慶直

2026年4月より外科に赴任しました大島慶直（おおばたけ よしなお）と申します。金沢大学を卒業し消化器外科を広く研修した後に肝胆膵外科を専門とし、腹腔鏡やロボットを用いて高難度手術を行ってきました。患者様の希望を重視し、丁寧で合併症の少ない手術を心がけ、当院で手術を受けて良かったと言ってもらえるよう頑張りたいと思っています。当院には私を含め肝胆膵外科を専門とする医師が3名も所属しており、設備面でも腹腔鏡やロボットなど最新のものが充実している京都市内でも珍しい病院です。これらの強みを活かして、この地域の方々に最新で安全な治療を提供し信頼される医療を目指しますので何卒宜しくお願い申し上げます。

Hiromasa
Ito



整形外科 医長

伊藤 弘雅

2026年4月より整形外科に着任いたしました、伊藤弘雅と申します。

2009年に久留米大学医学部医学科を卒業後、久留米大学整形外科に入局し福岡・大分の複数の病院で整形外科医として、一般外傷をはじめ、スポーツ整形外科および膝関節を専門とし地域の医療に携わってきました。このたびご縁があり蘇生会総合病院に勤務させて頂くことになりました。自分は高校まで京都で育ちましたので、生まれ育った街で仕事ができることを大変嬉しく思っております。これまで培ってきた経験と技術を活かし、患者様一人ひとりに寄り添った丁寧で信頼される医療を提供できるよう努めてまいります。地域の皆様の健康維持・回復に貢献できますよう、日々精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

2026年着任のご挨拶

Shota
Yosbitomi



脳神経外科

吉富 晶太

2026年4月より赴任致しました、吉富晶太と申します。

大阪市に生まれ、京都の中高を経て京都府立医大を卒業し、京都大学病院にて初期研修を終えた後は脳外科後期研修として埼玉医大国際医療センターや虎の門病院、都立神経病院、国立循環器病センターなどで血管障害を中心に研鑽を積んで参りました。

そしてこの度ご縁あって蘇生会総合病院で新たに勤務をさせて頂くことになりました。

再びゆかりのある京都に帰ってくることに深い縁を感じております。

未熟者ですが脳外科ならびに蘇生会、京都の皆様にもお役に立てられるよう精進して参ります。何卒よろしくお願い申し上げます。

Miki
Yoshimura



眼科

吉村 美紀

2026年4月より眼科に赴任いたしました、吉村美紀と申します。大阪府出身で、滋賀医科大学を2021年に卒業した後、同大学病院で初期研修を修了しました。その後滋賀医科大学眼科学講座に入局し、専攻医4年目となりました。この度ご縁があり蘇生会総合病院に勤務させていただくこととなりました。新しい環境に少し緊張していますが、スタッフの皆様が温かく迎えてくださり感謝しております。地域の皆様が安心して健やかな毎日を過ごせるよう、一人ひとりの患者さんに寄り添った丁寧な診療を心がけてまいります。皆様、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



©2026 Intuitive Surgical, Inc.

蘇生会総合病院手術センターでは2026年3月からダビンチXiを導入しロボット支援手術を開始しましたので、現在の状況を紹介します。ロボット支援手術自体はすでに当院では整形外科荒木部長の指揮のもと、人工関節置換術を対象に実施してきました。ダビンチXiは代表的なロボット支援手術システムで、手術野にはロボットアームを有するペイシェントカート、システムを統括するヴィジョンカートを配置し、執刀医は術野から離れたサージョンコンソールで手術操作を行います。今回、外科・消化器外科、泌尿器科においてダビンチXi手術を開始しました。

手術支援ロボット ダビンチXi【da Vinci Xi】 を導入しました

手術支援センター長 土師 誠二



©2026 Intuitive Surgical, Inc.



©2026 Intuitive Surgical, Inc.



©2026 Intuitive Surgical, Inc.

外科・消化器外科、泌尿器科ではこれまで多くのがん手術を手掛け、特に腹腔鏡手術や胸腔鏡手術、いわゆる低侵襲手術を得意として積極的に行ってきました。ダビンチXiシステムを導入した後、泌尿科がまずは先陣を切って前立腺疾患に対するロボット支援手術を開始しました。続けて、外科・消化器外科が5月から手術を開始し、大腸癌、胃癌、肝臓癌、膵臓癌、鼠径ヘルニアを対象にロボット支援下手術を展開しています。これまで手術トラブルもなく全症例とも順調に手術を終えています。

ロボット支援下手術の大きなメリットは、多関節機能を備えたロボットアーム、手ブレのない手術操作、高解像度の3次元立体画像により、通常の開腹手術、腹腔鏡手術に比べて精緻な手術を実施できることにあります。胃癌手術や前立腺癌手術ではロボット支援下手術は腹腔鏡下手術に比べて術後合併症が有意に減少することが明らかにされ、ロボット支援下手術は今後ますます普及していくと思われます。当院には日本内視鏡外科学会技術認定医資格、ロボット支援下手術ブロッカー資格(術者として標準的な技量を取得し、他者によるロボット支援手術を円滑かつ安全に指導できる指導者の資格)を有するスタッフが3名在籍しています。300例を超える豊富なロボット手術経験をもつ彼らとともに、蘇生会総合病院は今後もロボット支援下手術を一層広く推進し、地域の皆様のご期待に応える医療を提供していく所存ですので、よろしくお願い申し上げます。



©2026 Intuitive Surgical, Inc.



©2026 Intuitive Surgical, Inc.



自転車ヘルメット着用推進モデル事業所に指定されました

2026年5月29日、当院にて「自転車ヘルメット着用促進モデル事業所」の指定書交付式が開催されました。

この取り組みは、京都府警察の支援のもと、自転車利用者の交通事故防止と交通安全意識の向上を目的として実施されるものです。

近年、自転車が関係する交通事故は依然として発生しており、事故発生時の被害軽減のため、ヘルメットの着用が重要とされています。ヘルメットを着用することで、頭部への衝撃を軽減し、重大なけがのリスクを低減する効果が期待されています。

交付式では、自転車ヘルメット着用の重要性や交通安全について理解を深めました。また、長澤院長は脳外科医としての経験や実際の診療現場での事例を踏まえ、頭部外傷の危険性やヘルメット着用の重要性についてお話しされ、交通安全意識の



向上を呼びかけました。当院では、ヘルメット着用の率先実践や院内啓発をはじめ、地域への啓発活動などを通じて、自転車利用者の安全意識の向上に取り組んでいきます。今後も関係機関と連携しながら、自転車利用者が安心・安全に利用できる交通環境づくりを推進するとともに、地域全体で交通安全意識の向上を図ってまいります。

文責/健康運動指導士 松本 泳子

2026年4月24日、糖尿病教室を開催しました

今回は初めて総合受付前のオープンスペースで開催し、通院中の患者さんをはじめ多くの方にご参加いただきました。参加費は無料で、どなたでも気軽に参加できる教室として開催しています。

糖尿病内科の上野医師からは「脳卒中を防ごう！糖尿病と大血管障害について」と題し、糖尿病による大血管障害は心臓・脳・足の血管に起こり、心筋梗塞や脳卒中などの原因となることが紹介されました。また、糖尿病の状態はHbA1cだけでなく血糖変動も指標となることや、脳卒中予防には血圧やLDLコレステロールの管理が必要であり、特に血圧管理の大切さが強調されました。

臨床検査技師からは、頸動脈エコー検査で動脈硬化の程度や血管の状態を確認できること、管理栄養士からは糖尿病の食事療法について紹介がありました。

次回の糖尿病教室は7月31日に開催予定で、藤井医師による「糖尿病と足病変」をテーマにした講演を予定しています。皆さまのご参加をお待ちしております。



文責/糖尿病療養指導士 明後 祐子

～豚肉と夏野菜のポン酢蒸し～



厳しい暑さで食欲が落ちている方も多いのではないのでしょうか。夏は汗をかくことで水分やミネラルが失われやすく、体がだるく感じたり疲れが抜けにくくなったりします。そんな季節に意識して取り入れたいのが、旬の夏野菜と、疲労回復に役立つ栄養素を含む食材です。今回ご紹介するレシピに使うズッキーニやミニトマトは、夏に旬を迎える野菜で、水分やビタミンCが豊富です。特にミニトマトの赤い色素であるリコピンは抗酸化作用が強く、紫外線が増える季節の健康維持にも役立つとされています。また、豚肉にはビタミンB₁が多く含まれ、糖質をエネルギーに変える働きを助けるため、夏の疲労対策にぴったりの食材です。暑い時期は火を使う調理が負担になることもありますが、電子レンジを活用すれば手軽に栄養バランスの良い一品が作れます。今回は、豚肉と夏野菜を組み合わせたレシピをご紹介します。食事からしっかり栄養をとり、暑さに負けない体づくりをしていきましょう！

材料 2人前

- ・豚薄切り(しゃぶしゃぶ用)……………150g
- ・ズッキーニ……………1本
- ・ミニトマト……………8個
- ★
 - ・ポン酢……………大さじ2
 - ・ごま油……………小さじ1
 - ・おろししょうが……………小さじ1

作り方

- ① ズッキーニは輪切り、ミニトマトは半分に切る。
- ② ズッキーニを耐熱容器に入れ、その上に豚肉を広げてのせる。
- ③ ふんわりラップをして電子レンジ600Wで4分加熱する。
- ④ ポン酢・ごま油・おろししょうがを混ぜてタレ(★)を作る。
- ⑤ 加熱した食材にミニトマトを加え、タレ(★)をかけて和える。

◎夏野菜はナス、ピーマン、パプリカ、オクラなどお好みに合わせて選んでみてください。タレを「塩レモン」や「梅おかか」などに変えると、また違ったおいしさを楽しめます♪

栄養価(1人前) 熱量:200kcal、たんぱく質:18.3g、塩分:1.6g

文責/管理栄養士 黒田 菜帆

蘇生会総合病院では、4月から12月末迄大規模改修工事を行っています。

◆大規模改修工事とは何をしてるの？

建物を長く安全に使用するために行うメンテナンス工事です。
建物は雨や風、紫外線、地震などの影響で少しずつ劣化します。
そのまま放置すると、



等が発生します。



外壁のひび割れ

タイルの剥落

雨漏り

防水性能の低下

そのため

- ▶外壁補修工事…タイルの浮きや割れを直します。
- ▶屋上防水工事…雨水の侵入を防ぐため、防水層の更新、遮熱塗料の利用によるエネルギー消費の削減
- ▶シーリング工事…窓まわりや外壁の継ぎ目の打ち替え。等を行います。

◆工事中の影響は？

シンナー系の臭い、コンクリートを穿孔する作業音、足場設置による採光量の減少などです。

- 患者さん並びに、ご面会の皆様には大変ご迷惑をお掛けしますが、何卒工事のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



蘇生会総合病院の指針

▶理念

思いやりの気持ちで心とからだの蘇生を 患者様の信頼と要望に全力で応える医療を

▶基本方針

- ①最新で質の高い医療
 - ②誠実で正しい医療
 - ③地域社会に貢献できる医療
 - ④急性期疾患と慢性期疾患とを含めた総合的医療
 - ⑤患者様の権利を尊重した医療
- 以上を提供する

▶患者様の権利

- ①人として人格を尊重される権利
- ②診療内容について十分な説明を受ける権利
- ③納得のいかない診療を拒否する権利
- ④自分の受けた診療について知る権利
- ⑤清潔な環境で診療を受ける権利
- ⑥プライバシーを保護される権利

▶患者様の義務

他の患者様の迷惑となる言動をしない

▶臨床倫理の方針

患者様を中心とした公正な医療を提供するために、次のとおり臨床倫理の方針を定めます。

- ①「患者様の権利」を尊重した医療を提供します。
- ②個人情報の保護と職務上の守秘義務を遵守します。
- ③診療行為に関する関係法令を遵守します。
- ④国籍、人種、信条などに左右されことなく、公平な医療を提供します。
- ⑤生命の尊厳に関する医療行為や臨床研究などは、倫理委員会で審議を行い、方針を決定します。

グループ施設紹介

医療法人社団蘇生会

- ・蘇生会総合病院
- ・蘇生会クリニック
- ・蘇生会総合病院 健康増進センター
- ・老人保健施設 アールそせい
- ・老人保健施設 第2アールそせい
- ・蘇生会訪問看護ステーション
- ・蘇生会居宅介護支援サービスセンター

